

## ① 検討会について

目的：都心三宮エリアを対象に感染症対策の視点から具体的な手法や運用方法など有効な方策について検討（神戸らしい取組であること／取組みやすさを重視／フレキシブルな仕組み）

## ② ガイドライン（案）の内容についての議論

### 1. ガイドラインの目的

#### 1-1. 感染症に強い空間づくり

三宮再整備を進めるにあたり、感染症に対して柔軟で強靱な対応力を付加

#### 1-2. 都市空間のハード整備に関する指針

「身体的距離」「換気」「非接触」等の観点から、民間の建物所有者等の取組の参考となる指針を示し、自主的にその対策を講じるよう誘導

委員の個別意見



➡ ウイズコロナ・ポストコロナを見据えた都市空間の再整備に求められる役割・機能等の変化に適切かつ柔軟に対応し、都心・三宮再整備を着実に推進

### 2. 都心・三宮再整備の取組

新たな公共空間や多くの人々が利用する施設の整備が進みつつある都心三宮エリア



△令和2年度事業及び今後予定されている主な事業を参考に記したもの

▽三宮クロススクエア（第2段階）東側（イメージ）

△左/新たなバスターミナルが入る再開発ビルの整備  
右/中央区役所・中央区文化センターの整備（いずれもイメージ）



### 3. 屋内空間チェックリスト

#### 3-1. 対象とする用途

不特定多数の利用等を考慮して「事務所」「店舗」

#### 3-2. チェックリスト

感染症対策の目安を提示した一覧表により、新築・改修等の際に事業者が自らの取組の程度を確認

《観点》

- ① 身体的距離
- ② 換気
- ③ 非接触
- ④ 運用



提供:フジテック株式会社 画像はイメージです。

《例》

- ✓ゆとりを持った空間の確保
- ✓機械換気の性能
- ✓EVのタッチレス化 等

委員の個別意見



### 4. 屋外空間の取組

#### 4-1. 取組方針

人が主役の居心地の良い空間を創出し、感染症に強いまちづくりを目指す

#### 4-2. 各施設での取組事例

公共空間の整備において取り入れていくとともに、事業者にも推奨できるよう手法の整理及び類型化

《観点》

- ① 身体的距離
- ② 換気
- ③ 非接触
- ④ 運用



○身体的距離にも配慮した空間デザイン（イメージ）

《例》

- ✓換気が良いという強みを活かした広く豊かな空間の設えのあり方 等

委員の個別意見



## ③ ガイドライン（案）の取り扱いについての議論

- ・屋内空間チェックリストの運用方法（任意提出／提出時期／対象者／対象エリア 等）
- ・屋外空間の取組事例の提示方法
- ・感染症の状況を踏まえて柔軟に活用（ガイドラインの広報・PR／必要に応じて市で届出の制度化検討 等）

委員の個別意見

